

第 19 回環境システム地域シンポジウム

(第 8 回不法投棄対策工学講座セミナー)

題目 : 「不法投棄現場の修復レベルの決め方 - 廃棄物処理法と土壤汚染対策法 - 」

日程 : 2009年6月22日(月) 13:30 ~ 17:00

場所 : 全国町村会館 ホールA (東京都千代田区永田町1丁目11番地35号)

主催 : 北海道大学大学院工学研究科 循環計画システム研究室/不法投棄対策工学講座

共催 : 土木学会環境システム委員会

趣旨

環境省の平成19年度調査によれば、平成18年度末(平成19年3月31日)における産業廃棄物の不法投棄等の残存件数は2,774件、残存量の合計は1,565.3万トンである。全国の不法投棄等の残存データを初めて公表した平成15年度のデータと比べると、件数及び残存量ともに20%前後増加している状況にある。修復対策が進まない理由は経済的要因や生活環境保全上の支障(リスク)の程度など様々あるが、修復が必要と判断されてからも、廃棄物処理法では修復のレベルの判断が都道府県等の当局に委ねられていることから、全量撤去か、現位置封じ込めかなどの修復方法及びレベルをめぐり、住民と対立して、結果として修復が進まないケースが多い。

一方、今国会で改正土壤汚染対策法が成立した。改正の契機の一つは掘削除去の偏重にある。このため、改正土壤汚染対策法では、区域の分類化と必要な対策の明確化が図られた。

そこで、本セミナーでは、土壤汚染対策の例と比較しながら、過去の不法投棄等事例の修復レベルの決め方の経緯、今後の課題・あり方について議論する場といたく存じます。

プログラム

1. 挨拶(13:30~13:35)・・・不法投棄対策工学講座 客員教授 西 則雄
2. 環境省からの基調講演(13:35~13:55)
「土壤汚染対策法の一部を改正する法律案の概要について」
・・・環境省水・大気環境局土壤環境課 天野賀仁補佐
質疑応答(13:55~14:10)
3. 講演(14:10~15:30、20分/一人)
 - 1) 「土壤汚染対策法改正に対する修復技術の対応」(~14:30)
・・・(株)大林組 エンジニアリング本部環境技術第一部 部長 峠 和男
 - 2) 「産業廃棄物不法投棄事案の支障除去事例」(~14:50)
・・・産業廃棄物処理事業振興財団 適正処理推進部 次長 山脇 敦
 - 3) 「事例からみた修復レベルの決め方について」(~15:30)
・・・不法投棄対策工学講座 助教 金 相烈

4)「廃棄物処理法と土壌汚染対策法を考慮した汚染修復のあり方」(~15:10)

・・・慶應義塾大学環境情報学部 教授 藤倉まなみ

4. 休憩(15:30~15:40)

5. パネルディスカッション(15:40~16:55)

コーディネーター：藤倉まなみ(慶應義塾大学環境情報学部 教授)

パネルリスト：

峠 和男((株)大林組 エンジニアリング本部環境技術第一部 部長)、

山脇 敦(産業廃棄物処理事業振興財団 適正処理推進部 次長)、

金 相烈(北海道大学不法投棄対策工学講座 助教)

土居 洋一(LS研 安定化・評価研究グループ 不法投棄分科会 主査)

6. 挨拶(16:55~17:00)・・・古市徹(北大、循環計画システム研究室)

懇親会(時間：17:30~)

場所：全国町村会館 ホールB(東京都千代田区永田町1丁目11番地35号)

会費：5,000円

申込・問い合わせ先：

〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目

北海道大学大学院工学研究科循環計画システム研究室

助教 石井一英 k-ishii@eng.hokudai.ac.jp

(TEL 011-706-7284/FAX 011-706-7287)

会場の地図

セミナー及び懇親会の会場：

場所：全国町村会館（東京都千代田区永田町1-11-35）TEL.03-3581-0471

(<http://www.zck.or.jp/kaikan/access/index.htm>)

地下鉄の場合

有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」3番出口徒歩1分

丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」徒歩5分

